

# たねプロ（たねさしプロジェクト）募集要項

## 1. 趣旨

種差海岸インフォメーションセンターは、「いざなう場」「伝え育む場」「つながる場」「生み出す場」の4つのコンセプトに沿って取組を行っています。関係する人たち全員が地域を輝かせる「主役」となって活動し、人と人とのつながり、地域への誇り、自然との共生の意識を生み出すことを目指しています。

みなさまにはプログラム等を提供する主体となっていただきます。自然の魅力や不思議、暮らしの知恵、昔の遊びなどのプログラム、草刈りや清掃活動などの維持管理イベントの実施など…。たねプロは、様々な方がインフォメーションセンターを利用して、種差海岸階上岳地域とみちのく潮風トレイルの地域資源の保全と活用、地域づくりを行っていくための仕組みです。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

## 2. たねプロとは？

個人は元より、住民グループや民間団体、研究機関、専門家などの様々な主体が種差海岸インフォメーションセンターを利用して行う体験プログラムやイベントのことです。

プログラム等は種差海岸インフォメーションセンター運営協議会に登録され、広報も行われます。

例えば、こんなプログラム等が考えられます。

植物観察トレッキング、漁師鍋体験、草刈り体験

トレイルの歩き方・ファッション講座、トレイルクッキング

植物観察会、うみねこ講座、お魚講座、漁業道具勉強会

※施設使用料は無料です。

## 3. 対象

種差海岸インフォメーションセンターのコンセプト及びたねプロの趣旨に賛同し、自らプログラムを企画・運営し、責任をもって実施できる者

## 4. 条件

- (1) 種差海岸インフォメーションセンターを利用すること
- (2) 所定の応募概要書・企画書・報告書・参加者用アンケートの提出ができること
- (3) 自立した活動ができること
- (4) 体験プログラム等は、必要により損害保険等に加入すること
- (5) 参加対象者を限定しないこと

※自立した活動とは、プログラムにかかる準備から完了までの一切（費用の精算をむ。）を自ら実施できること

※運営協議会により適切でないとされたプログラム、提供者については、次回以降の企画を登録できないことがあります。

## 5. 種差海岸インフォメーションセンター運営協議会とは？

インフォメーションセンターの運営をとおして、地域資源の活用と保全、地域振興に持続的かつ効果的に取り組むための地域の関係者による組織です。

構成主体は環境省東北地方環境事務所、青森県、八戸市、階上町、VISIT はちのへ、鮫・種差・階上町観光協会、NPO 法人 ACTY です。

## 6. 種差海岸インフォメーションセンターのコンセプト

### ◆いざなう場

来訪者や地域の方々がインフォメーションセンターやフィールドに自然と集まるような空間を作ります。

### ◆伝え育む場

三陸復興国立公園の見どころや自然・暮らしの情報、地域の方々から寄せられる旬な情報を提供するとともに、そこに込められた「おもい」も伝えます。

### ◆つながる場

スタッフの解説や地域の方が行うガイドによる体験プログラム等の実施によって、来訪者、地域の方々、スタッフ間の交流を促進します。

### ◆生み出す場

「自然と地域の間に込められたメッセージ」、「新たな発見」等に触れられる機会を、展示・体験・広報などを通じて提供することで、自然との共生の意識や地域への誇りなどの醸成につなげます。